

定 例 記 者 会 見 資 料

日時 平成29年 2月20日(月) 11:00～

場所 白石市役所 3階 応接室

1. 2月市議会定例会提出議案について

2. その他

第424回白石市議会定例会提出議案件名一覧

番 号	件 名
第 1 号議案	固定資産評価員の選任について
第 2 号議案	固定資産評価審査委員会委員の選任について
第 3 号議案	辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定について
第 4 号議案	辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について
第 5 号議案	白石市債権管理条例
第 6 号議案	白石市庁舎建設基金条例
第 7 号議案	白石市子育て応援住宅基金条例
第 8 号議案	個人情報保護に関する法律及び行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の一部を改正する法律の一部の施行に伴う関係条例の整理に関する条例
第 9 号議案	白石市水防協議会条例の一部を改正する条例
第 10 号議案	白石市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例
第 11 号議案	白石市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例
第 12 号議案	白石市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
第 13 号議案	旧白石市教育委員会教育長の給与、勤務時間その他勤務条件に関する条例の一部を改正する条例
第 14 号議案	白石市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
第 15 号議案	白石市市税条例等の一部を改正する条例
第 16 号議案	白石市工場立地法準則条例の一部を改正する条例
第 17 号議案	白石市公営企業の設置等に関する条例の一部を改正する条例
第 18 号議案	白石市企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例
第 19 号議案	白石市水道給水条例の一部を改正する条例

第20号議案	白石市地域子育て支援センター条例の一部を改正する条例
第21号議案	白石市放課後児童クラブ条例の一部を改正する条例
第22号議案	白石市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例
第23号議案	白石市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例
第24号議案	白石市地域包括支援センターにおける包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
第25号議案	平成28年度白石市一般会計補正予算（第7号）
第26号議案	平成28年度白石市国民健康保険特別会計補正予算（第4号）
第27号議案	平成28年度白石市介護保険特別会計補正予算（第5号）
第28号議案	平成28年度白石市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）
第29号議案	平成28年度白石市水道事業会計補正予算（第3号）
第30号議案	平成28年度白石市下水道事業会計補正予算（第3号）
第31号議案	平成29年度白石市一般会計予算
第32号議案	平成29年度白石市国民健康保険特別会計予算
第33号議案	平成29年度白石市介護保険特別会計予算
第34号議案	平成29年度白石市後期高齢者医療特別会計予算
第35号議案	平成29年度白石市水道事業会計予算
第36号議案	平成29年度白石市下水道事業会計予算

平成28年度 平成29年2月補正予算概要

(単位:千円)

会計名	補正前の額	補正額	総額
一般会計	17,745,277	△ 130,069	17,615,208
特別会計	国民健康保険	△ 65,769	4,624,905
	介護保険	△ 191,095	3,908,941
	後期高齢者医療	△ 43,362	388,565
	計	△ 300,226	8,922,411
合計	26,967,914	△ 430,295	26,537,619

企業会計

(単位:千円)

会計名	補正前の額	補正額	総額
水道事業会計	1,332,692	△ 12,781	1,319,911
下水道事業会計	2,872,057	93,119	2,965,176

※企業会計は収益的支出+資本的支出

2月補正の主な事業及び金額

一般会計

(単位:千円)

事業名	金額
地方創生拠点整備交付金事業 ・弥治郎こけし村リノベーション事業 なお、上記以外は事業費確定等による減額補正が主である。	195,943

平成29年2月議会 記者会見資料
平成28年度2月補正予算関係

地方創生拠点整備交付金事業

弥治郎こけし村リノベーション事業

担当：市民経済部商工観光課

本市では、伝統工芸品「弥治郎系こけし」の後継者育成事業により、意欲ある若手工人在7名誕生する見込みとなるなど、着実な事業成果を見せつつあります。

また、弥治郎地区に近接する民間施設「宮城蔵王キツネ村」には、国内外の動物愛好家など約10万人が来園するなど、ここ3年ほどで急激に有力な滞在交流施設へと変貌を遂げています。

さらに、東北本線白石駅がJR東日本の周遊型寝台列車「トランスイート四季島」冬コースの降車駅の一つに決定し、下車観光地として「しろいしブランド」の魅力を国内外に発信できる絶好の機会を迎えようとしています。

この機会を千載一遇の好機として、施設開館後約四半世紀を過ぎた「弥治郎こけし村」の施設を抜本的にリノベーションを実施し、「地域ブランドの確立」のための拠点施設へと進化を図ろうとするものです。

また、施設整備とあわせて、展示体験関連設備についても抜本的なリノベーションを図るとともに、ドローンを活用した映像の制作や2次交通の試験運行のほか、新たに担い手となった若手工人等の紹介と交流を意図したイベントや各種体験教室の開催などを行い、各交流拠点間の相互連携利用の増加による交流人口の拡大と地域全体の収益力向上を図ろうとするものです。

[歳入] 国庫支出金

地方創生拠点整備交付金 97,950千円

市債

観光債 84,800千円

[歳出] 7款 商工費 1項 商工費 4目 観光費

4事業 観光振興事業

13節 委託料 3,000千円

7款 商工費 1項 商工費 7目 弥治郎こけし村費

2事業 一般的管理経費

12節 役務費(手数料) 43千円

13節 委託料 35,300千円

15節 工事請負費 157,600千円

合計 195,943千円

平成29年度一般会計・特別会計等予算総括表

(単位:千円)

区 分 会 計 別	平成29年度	平成28年度	現計予算額	比 較 増 減			
	当初予算(A)	当初予算(B)	12月補正(C)	(A)－(B)	増減率(%)	(A)－(C)	増減率(%)
一般会計	15,415,823	16,383,913	17,745,277	△ 968,090	△ 5.9	△ 2,329,454	△ 13.1
特別会計							
国民健康保険	4,493,411	4,548,136	4,690,674	△ 54,725	△ 1.2	△ 197,263	△ 4.2
介護保険	3,876,363	3,937,585	4,100,036	△ 61,222	△ 1.6	△ 223,673	△ 5.5
後期高齢者医療	429,660	420,880	431,927	8,780	2.1	△ 2,267	△ 0.5
特別会計計	8,799,434	8,906,601	9,222,637	△ 107,167	△ 1.2	△ 423,203	△ 4.6
合 計	24,215,257	25,290,514	26,967,914	△ 1,075,257	△ 4.3	△ 2,752,657	△ 10.2

企業会計

水道事業会計	1,234,624	1,319,179	1,332,692	△ 84,555	△ 6.4	△ 98,068	△ 7.4
下水道事業会計	2,172,308	2,834,440	2,872,057	△ 662,132	△ 23.4	△ 699,749	△ 24.4

注:企業会計については収益的支出+資本的支出額

平成29年度 当初予算概要

担当：総務部財政課

平成29年度一般会計当初予算は、154億1,582万3千円。前年度当初予算に比べ、9億6,809万円（△5.9%）の減額となっています。これは、地方創生推進交付金事業に係る経費や白石市外二町組合に対する出資金等の増加はあるものの、東日本大震災に起因する公共下水道施設の復旧費用に対する下水道事業会計への繰り出しが終了するとともに、白石沖西堀線街路事業に係る経費が大幅に減少することなどが主な要因です。

主な事業の詳細は別紙1から5のとおりです。

平成29年度当初予算の主要事業

一般会計

(単位：千円)

事業名	金額
○地方創生推進交付金事業	
・ 日本一の米復活プロジェクト事業	4,691
・ 6次産業チャレンジ法人支援事業	98,500
・ しろいし農産物ブランド化推進事業	15,469
・ 伝統産業継承事業	15,203
・ 白石の魅力向上を推進する事業	56,564
○子育て支援の充実	
・ 一時預かり事業	5,623
・ 小学校入学祝金贈呈事業	1,380
○定住化の促進	
・ 地域おこし協力隊推進事業	1,987
・ 子育て応援住宅	6,397
○有害鳥獣対策	
・ 有害鳥獣被害防止対策事業	40,080
○公共施設等の長寿命化対策	
・ 庁舎建設基金	100,000

平成29年2月議会 記者会見資料
平成29年度当初予算関係

地方創生推進交付金事業

総括担当：総務部地方創生対策室

本市では昨年8月、「地方創生推進交付金制度」における先駆タイプ・広域連携型事業として宮城県との連携による「次世代につながる農山漁村づくり計画」が、計画期間5カ年の地域再生計画として認定され、「日本一の米復活プロジェクト事業」「6次産業チャレンジ法人支援事業」「農産物ブランド化推進事業」「伝統産業継承事業」等、「しろいしブランド」の確立に向け、様々な地方創生事業を展開しています。

平成29年度当初予算においては、同計画2カ年目となる事業予算を計上し、「白石市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の着実な推進を図ります。

[歳入] 国庫支出金
地方創生推進交付金 94,903千円

[歳出] ○日本一の米復活プロジェクト事業 4,691千円
 ・食味日本一の「しろいし米」復活プロジェクト推進事業 4,391千円
 (6款農林水産業費 1項農業費 4目農業振興費)
 ・田んぼわくわく講座・親子食育教室事業 300千円
 (10款教育費 5項社会教育費 6目地域支援費)
 (4款衛生費 1項保健衛生費 3目予防費)

○6次産業チャレンジ法人支援事業 98,500千円
 ・6次産業チャレンジ法人支援事業 98,500千円
 (7款商工費 1項商工費 2目商工業振興費)

○しろいし農産物ブランド化推進事業 15,469千円
 ・白石農産物ブランド化推進事業 10,000千円
 ・農産物直売所活性化事業 2,000千円
 ・農産物収穫等イベントPR事業 1,969千円
 (6款農林水産業費 1項農業費 4目農業振興費)
 ・白石藩倶楽部事業 1,500千円
 (7款商工費 1項商工費 2目商工業振興費)

○伝統産業継承事業 15,203千円
 ・伝統こけし工人後継者育成事業 7,234千円
 ・伝統工芸品産業振興イベント開催PR事業 2,969千円
 ・伝統産業(白石和紙)継承事業 2,000千円
 (7款商工費 1項商工費 2目商工業振興費)
 ・観光パンフレットリニューアル事業 3,000千円
 (7款商工費 1項商工費 4目観光費)

○白石の魅力向上を推進する事業	56,564千円
・ソーシャルメディア情報収集解析事業 （2款総務費 1項総務管理費 7目企画費）	3,800千円
・白石ブランド強化映像制作事業 （2款総務費 1項総務管理費 18目白石城関連費）	48,000千円
・城花町しろいし事業 （8款土木費 4項都市計画費 2目公園費） （10款教育費 5項社会教育費 6目地域支援費）	4,764千円
合計	<u>190,427千円</u>

平成29年2月議会 記者会見資料
平成29年度当初予算関係

子育て支援の充実

○ 一時預かり事業

担当：保健福祉部子ども家庭課

一時預かり事業の開始に向けた現在の状況は、昨年12月の市議会定例会で開設準備経費に関する予算の議決をいただき、保育場所となる南保育園の改修などの準備を進めているところです。

平成29年度当初予算では、4月から保育業務開始を予定していることから、臨時保育士に係る経費や給食費など関連事業費を計上しています。

一時預かり事業の開始により、一時的に家庭での保育が困難になる場合や育児疲れに伴う保護者の心理的・身体的負担の軽減を図り、子育て世帯がいきいき暮らすことができるよう支援していきます。

○事業概要

1 実施場所

南保育園3階

2 対象者

白石市に住所がある生後6か月～小学校就学前のお子さんを持つ保護者の方

3 利用定員

1日当たり8人

4 開所時間

月曜日～金曜日の8時30分～16時30分（祝日、年末年始を除く）

5 利用日数

週3日以内

ただし、保護者の方の入院や通院、看護、出産、冠婚葬祭、災害、事故、求職活動、臨時的なアルバイトや自営業の繁忙期などの場合は、事由毎に30日以内で必要とする期間

6 子ども1人当たりの利用料金

(1) 1日利用（4時間以上）：1,200円

(2) 半日利用（4時間未満）：700円

※ 何れも昼食を伴う場合は300円加算

7 事業開始

平成29年4月（登録受付は3月中旬から予定）

[歳入]	国庫支出金				
	子ども・子育て支援交付金				526千円
	県支出金				
	子ども・子育て支援交付金				526千円
	諸収入				
	臨時職員等社会保険料・雇用保険料本人負担分				592千円
	保育園職員給食費収入				146千円
	一時預かり事業利用者負担金				1,296千円
[歳出]	3款 民生費	2項 児童福祉費	4目 保育園費		
	8事業 一時預かり事業				
	4節 共済費				1,216千円
	7節 賃金				3,883千円
	11節 需用費				26千円
	12節 役務費				58千円
	13節 委託料				
	保育園給食調理業務委託料				440千円
					合計5,623千円

○小学校入学祝金贈呈事業

担当：保健福祉部子ども家庭課

国立社会保障・人口問題研究所の「第14回出生動向基本調査（夫婦調査）」（2010年）によると、夫婦が実際に持つと考えている子どもの数は2.07人で、夫婦に尋ねた理想的な子どもの数2.42人には達していません。理想的な子どもの数を持たない理由として、60.4%の人が「子育てや教育にお金が掛かりすぎるから」と答えており、多子世帯への経済的負担軽減が子どもを産み育てやすいまちづくりのために必要な要素のひとつとなっていることがうかがえます。

このような状況の中、宮城県は、市町村が第3子以降の子どもを監護している保護者に対し、小学校入学時の教材購入費助成や入学祝金を贈呈した際に経費の一部を補助する「宮城県小学校入学支援事業」を平成29年度から開始することとなりました。

本市では、県が実施するこの事業を活用し、これまで実施してきた出生時の誕生祝い金・すくすくベビー券の贈呈に加えて、第3子以降のお子さんの小学校入学時に「小学校入学祝金」として3万円分の図書カードを贈呈します。このことにより、将来を担う白石の子どもが本に親しむ機会が増え、国語力、集中力、想像力などの向上に繋がることを願い、子育て家庭を祝福します。

○事業概要

1 対象者

18歳未満から数えて3人以上の子どもを監護しており、3番目以降の子どもが小学校等に入学する年の基準日に白石市に住民登録がある保護者（所得制限なし）

2 贈呈額

子ども1人30,000円×46人（見込み）

3 贈呈内容

1枚3,000円の図書カード10枚

4 基準日

毎年5月1日

[歳入] 県支出金

宮城県小学校入学準備支援事業補助金 690千円

[歳出] 3款 民生費 2項 児童福祉費 7目 子育て支援費

3事業 子育て支援事業

8節 報償費

小学校入学祝金 1,380千円

平成29年2月議会 記者会見資料
平成29年度当初予算関係

定住化の促進

○地域おこし協力隊推進事業

担当：総務部企画情報課

人口減少や高齢化などの進行が著しい地方において、都市地域の人材を積極的に受け入れ、地域協力活動を行いながら、その地域への定住・定着を図る取り組みである「地域おこし協力隊」の制度が全国各地で活用され、さまざまな地域協力活動が展開されています。

本市においても、農林業の分野において本制度を活用するため、隊員の募集を行うとともに、他分野においての本制度の活用を検討します。

○地域おこし協力隊（制度概要）

市地域から過疎地域等の条件不利地域に住民票を移動し、生活の拠点を移した者を、地方公共団体が「地域おこし協力隊員」として委嘱。隊員は一定期間、地域に居住して、地域ブランドや地場製品の開発・販売・PR等の地域おこしの支援や農林水産業への従事、住民の生活支援などの「地域協力活動」を行いながら、その地域への定住・定着を図る取組。

[歳出]	2款	総務費	1項	総務管理費	7目	企画費
	18	事業		地域おこし協力隊推進事業		
		9節		旅費		508千円
		11節		需用費		155千円
		12節		役務費		59千円
		13節		委託料		837千円
		14節		使用料及び賃借料		320千円
		19節		負担金補助及び交付金		108千円
				合計	1,	987千円

○子育て応援住宅

担当：建設産業部建設課

平成28年4月から供用を開始した子育て応援住宅「東大畑住宅」は、現在、入居戸数が80戸中33戸の入居、子どもが43人、転入者が6世帯となっており、子供を中心とするコミュニティができつつあります。

また、28年度中に、コンビネーション遊具を3基整備し、子ども達が安全に遊ぶことができるように整備します。

さらに、子育て応援住宅の入居者の方が、退去後に、市内に住宅を取得した場合の補助金制度を引き続き実施いたします。

○子育て応援住宅入居者向け定住補助制度

子育て応援住宅入居者で、退去後3年以内に、市内に住宅（新築・中古）を取得した者に補助。補助金額は、入居期間の総家賃の30%

[歳入] 使用料及び手数料

子育て応援住宅使用料 16,848千円

[歳出] 8款 土木費 5項 住宅費 2目 子育て応援住宅管理費
2事業 子育て応援住宅管理費 6,397千円

平成29年2月議会 記者会見資料
平成29年度当初予算関係

有害鳥獣対策

○有害鳥獣被害防止対策事業

担当：建設産業部農林課

有害鳥獣対策は、特に「イノシシ」による農林作物への被害が大きいことから、27年度は709頭、28年度も1月末現在で1,366頭のイノシシを捕獲しており、来年度も引き続き捕獲による個体数の調整を推進します。また、電気柵等の設置者や狩猟免許取得者への助成を引き続き行うほか、新たに「箱わな製作」の助成を復活し、被害対策を強化します。

○助成制度

- ・ 鳥獣被害防止総合対策交付金 25,700千円
(鳥獣被害対策実施隊イノシシの捕獲・駆除費)
※捕獲見込頭数 1,670頭
- ・ 農林作物鳥獣被害防止対策事業補助金 5,600千円
(電気柵補助 5,000千円) 5万円×100戸
(箱わな製作補助 600千円) 3万円×20基
- ・ 農作物有害鳥獣対策協議会補助金 1,100千円
(鳥獣被害対策実施隊傷害保険料など)
- ・ 狩猟免許取得費助成金 366千円
(狩猟免許受験手数料・講習会受講料)

[歳出] 6款 農林費 2項 林業費 1目 林業総務費
3事業 有害鳥獣対策事業 40,080千円

平成29年2月議会 記者会見資料

平成29年度当初予算関係

公共施設等の長寿命化対策

○庁舎建設基金

担当：総務部財政課

本庁舎は昭和48年3月に竣工し、築後約44年が経過しています。平成18年には耐震化工事を行いました。東日本大震災では議場の天井が落下するなどの被害がありました。また、設備の老朽化も進んでおり、特に配管等の設備で修繕ができない箇所がある現状です。さらに、現在ある外部機関の本庁舎への集約を必要としているものの、老朽化、スペース等の問題から、本庁舎への移転集約は困難な状況にあり、適切なサービスを提供できるように効率的、効果的な整備を図る必要があります。

つきましては、白石版地方創生総合戦略に掲げている、新庁舎の建設に向けた準備を進めるため、平成29年度は公共施設等総合管理計画に基づく個別計画の策定を検討し、建設事業経費を平準化できるような手法を考えながら、庁舎建設のための基金を造成して本市の厳しい財政状況に対応した取り組みを進めるものです。

[歳出]	2款 総務費	1項 総務管理費	30目 庁舎建設基金費
	25節 積立金		
		庁舎建設基金積立金	100,000千円